金融研究センター　研究プロジェクト

「生成 AI・大規模言語モデル（LLM）を含む AI の金融領域における活用可能性とその課題」

● 背景

高度な対話型生成 AI の利用が足下で急速に普及するなど、AI の技術革新とビジネス応用のスピード・規模は著しく、多くの金融機関が AI の更なる活用に向けて検討を行っている。銀行や保険会社等の金融機関からは、業務プロセス効率化や顧客インターフェースの改善など点において、LLM が金融機関による AI 活用の可能性を高める等の期待が示される一方で、データの信頼性やモデルの説明可能性といった金融ユースケースではとりわけ重要と考えられる課題も指摘されている。金融当局としては、民間事業者における利活用の動向と、利用者保護の確保等のために必要な課題の特定を行う必要があると考えられる。

● 研究内容

金融領域における AI の活用可能性と課題を分析するため、主に以下の論点に関して研究を行う。

① 今後、社会全般に AI の利活用が広がっていくことが想定される中、金融領域特有の活用可能性・ユースケースに着目し、金融機関の目下の取組状況等も踏まえて活用可能性に関する分析を行う。

② 金融領域における AI の健全な活用に向けた、技術・ビジネス・コンプライアンス等の観点からの課題分析（極力、金融規制上のインプリケーションに関する分析も含めることが望ましい）。